

第36回 春季加賀地区中学校野球大会

- 1 主 催 石川県野球協会
2 主 管 石川県野球協会金沢支部 石川県野球協会少年部
3 後 援 北國新聞社
4 会 場 安原スポーツ広場野球場 (金沢市下安原東1127 Tel. 076-240-2098)
金沢市民野球場 (金沢市磯部町二45番地 Tel. 076-251-8189)
5 会 期 令和6年 5月25日(土) 1回戦 8:30 10:30 12:30 14:30 (2会場)
5月26日(日) 2回戦 8:30 10:30 (2会場)

代読 第二試合終了して40分後

※ 雨天予備日 5月27日(月)を基本に本部, 該当校で競技して決定する。

6 出場チーム

加賀(2), 小松(3), 能美(2), 白山・野々市(3), 金沢(4), 河北(2)の計16チームとする。

7 出場資格

- 1) 原則として, 各都市の春季大会の1位, 2位, 3位チームとする。
- 2) 1チームのメンバーは, 平成21年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた中学校年齢の25名以内とすること。
- 3) チームの代表者を届け出ること。
- 4) 監督は, 選手登録の枠外で登録することとし, 背番号は30番とする。
- 5) コーチを置く場合は, 2名以内を選手登録の枠外で登録できることとし, 背番号は1名の場合は29番, 2名の場合は28番, 29番とすること。

(注) 細部については, 全日本軟式野球連盟競技者必携に準ずる。

- 8 適用規則 2024年度公認野球規則と全日本軟式野球連盟競技者必携に定める規則を適用する。

- 9 使用球 石川県野球協会公認球M号を使用する。

- 10 参加申込 出場資格を得たチームは, 所定の申込用紙により
5月22日(水) 抽選会場に直接持参すること。

問い合わせ 〒923-0003 小松市安宅町安宅林4-112番地

山上 泰正

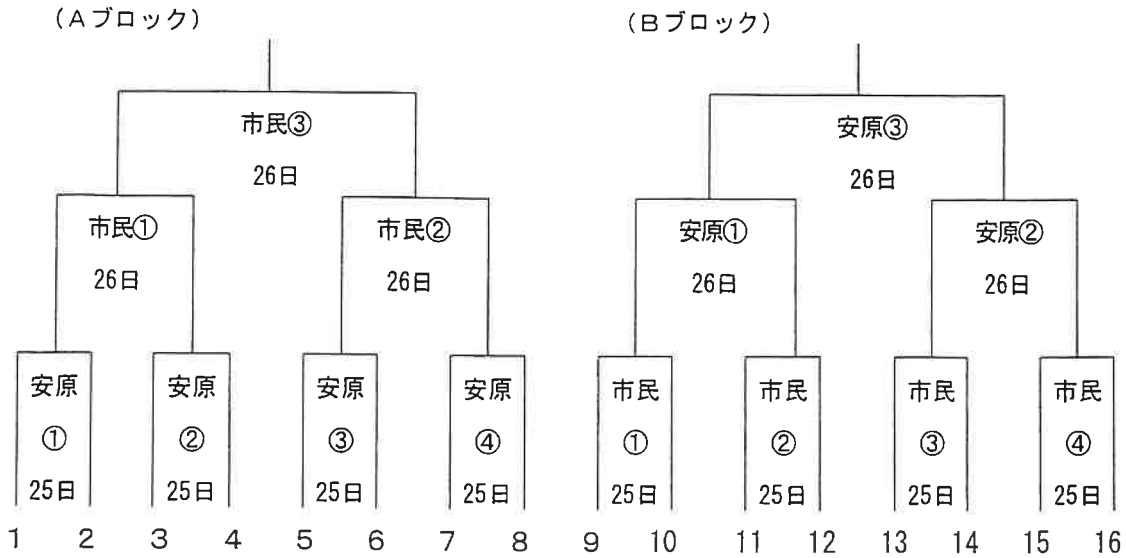
TEL 0761-24-0073 FAX 0761-24-0072

- 11 組合せ抽選 実施日 令和6年 5月22日(水) 17:30~

場 所 能美市立根上中学校

(参加申込書・参加料を必ず持参してください)

※ 番号の若いほうが一塁側



12 競技方法

- 1) トーナメント方式とし、各試合は7イニングスとする。
- 2) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。
- 3) 日没及び降雨によるコールドゲームは、5回以降は試合成立とし、それ以前の試合は継続試合とする。
- 4) 全試合、7回を終了して勝敗が決しないときは8回より特別ルールによる特別延長戦を行い、勝敗を決定する。

【特別延長戦】

7回終了時の継続打順で、無死1・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しないときは、以後継続打順でこれを繰り返すこととする。

- 5) その他については別に定める。

13 表彰 加賀地区代表に決まった2チーム *ノビのみ*

(注) 加賀地区代表に決まった2チームは下記の大会に出場すること。

- ・全日本少年軟式野球大会県予選 6月1日(土)、予備6月2日(日)

宝達志水野球場(羽咋郡宝達志水町吉野屋ヲ156) 0767-29-8320

全日本少年軟式野球大会県予選で優勝したチームは、下記の大会に出場すること。

- ・全日本少年軟式野球大会北信越予選 6月29日、30日(雨天7月1日順延)

長野県営球場(長野市大字東和田587) 026-244-0117

14 参加料 20000円+プログラム代3000円

15 旅費・宿泊費 本大会における旅費・宿泊費は、全て参加チーム負担とする。

16 その他

- 1) 開会式は行わない。
- 2) 第1試合のチームは試合開始予定時刻の40分前、第2試合以降は前の試合の4回終了時に、監督・主将はさだめられた打順表に出場メンバーを記入して本部に提出し、照合を受け

- た後、攻守を決定する。(4部提出)
- 3) シートロックは5分とする。また、背番号のついていない補助員は5名までとする。
 - 4) 試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分を目安に次の試合を開始する。
 - 5) 試合開始予定時刻になっても会場にこないチームは、原則として棄権とみなす。
 - 6) 小雨でも球場使用可能な状態になれば、開始時刻を遅らせても試合を実施することがある。
 - 7) 参加申込後は、選手の追加・変更及び背番号の変更は認めない。
 - 8) 参加者は、全員傷害保険に加入しておくこと。
 - 9) 出場選手は必ずユニホームに背番号をつけること。(1番より30番までの背番号以外は許されない。監督は30番、コーチは28・29番、主将は10番とする。)
 - 10) 打者、走者、ランナーズコーチとも公認マーク入りのヘルメットを着用すること。
 - 11) 捕手は、必ず公認マークの入ったマスク、ヘルメット、プロテクター、レガース及び急所(ファール)カップを着用する。マスクにはスロートガードを付けること。ただし、スロートガード一体型のものは、スロートガードをつける必要がない。
 - 12) 監督が投手のところに行く回数の制限
 - ① 監督が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(特別延長戦も含む)は、2イニングに1回行くことができる。
 - ② 「投手のところに行く」とは、監督がタイムをとってグラウンドに出て、投手または投手を含む野手が集まっている所で指示を与える状態を指す。投手の方からファールラインを超えて、監督の指示を受けた場合も同じとする。
 - ③ 監督が、同一イニングに同一投手のところに行くか、行ったとみなされた場合(伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合)は、投手は自動的に交代しなければならない。
 - 13) 守備側のタイムの制限
 - ① 捕手または内野手が投手の所へ行くことを守備のタイムとし、7イニングの試合にあっては3回以内とする。なお、延長戦(特別延長戦も含む)は、2イニングに1回行くことができる。
 - ② 野手(捕手を含む)が投手のところへ行った場合、そこへ監督が行けば、双方1回として数える。逆の場合も同様とする。
 - 14) 攻撃側のタイムの制限
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、延長戦(特別延長戦も含む)は、2イニングに1回とする。
 - 15) 選手の使用する用具、装具の細部の規定については、県中体連の県体規約に準ずる。
 - 16) 応援についても同様とし、太鼓等の鳴り物やブラスバンドの応援を認めないこととする。
 - 17) 本大会においては、投手の投球制限(1日1投手100球、会期中350球)の規定は適用する。